

## 伏虎義務教育学校設置に係る説明会 会議録 概要

- 1 日 時 平成28年11月15日(火) 午後7時～午後8時30分
- 2 場 所 和歌山市役所 14階 大会議室
- 3 出席者 中北教育総務部長 勝本学校教育部長 太地生涯学習部長  
教育政策課 南課長 畠山副課長 川本適正規模配置推進班長  
南企画員 森元技術主査 森本技術副主任  
教育施設課 清水課長  
スポーツ振興課 小川課長 細尾班長  
学校教育課 神崎課長 東副課長 南方専門教育監補  
教育研究所 市川所長 教職員課 梅野課長  
保健給食管理課 加藤課長  
青少年課 小井課長  
伏虎中学校 林校長 本町小学校 安井校長  
雄湊小学校 川本校長 城北小学校 梅本校長

参加者 45名(男性24名 女性21名)  
本町地区14名(男性5名 女性9名)  
雄湊地区16名(男性9名 女性7名)  
城北地区13名(男性10名 女性3名)  
その他 2名(男性0名 女性2名)

報道機関等 2名(和歌山放送1名、読売新聞1名)

## 4 内 容

- (1) 開会
- (2) 出席者紹介
- (3) 議事
  - ア ・伏虎義務教育学校「学校案内」から
  - ・保護者からの質問への回答について
  - ・伏虎義務教育学校だよりから  
説明会開催日程について  
跡地活用について  
新校舎建設工事の進捗状況について
  - ・通学路について
  - イ その他

## 5 説明会主な内容

### ・伏虎義務教育学校「学校案内」について

#### ○校章

3小学校の伝統を受け継ぎ、「伏：旧伏虎中学校校章文字」を中心に配置し、一つの小中一貫校として、新たな未来に向かって進んでいく学校。桜の花弁に優しさ、純潔さ、はじまりを、背景の円につながりや絆をイメージし作成されました。

#### ○学校教育目標

「心豊かで、自ら学び、夢と希望を持ってたくましく生きる人間を育成します」を候補として考えています。この学校教育目標は、次の「めざす子ども像」で示された子ども像を集約する形で作られたものです。

- (1) 心豊かで、思いやりのある優しい子ども（豊かな人間性・社会性）
- (2) 進んで学び、しっかり考える子ども（確かな学力・創造力）
- (3) 健やかに、たくましく生きる元気な子ども（健康な体・自立心）です。

今回の子ども像については、学校教育の理念である「生きる力」の3つの要素である「知・徳・体」の要素をもとに作られています。また、「社会性」、「創造力」「自立心」といった、今社会が求める力「社会を生き抜く力」の要素も加味した「子ども像」にしています。義務教育学校では、めざす子ども像の実現に向けて、「9年間を見通した教育課程」を編成します。教員は、小学校、中学校というこれまでの校種間の垣根を取り払い、1つの学校の教員であるという意識のもとに、学校全体の子どもを見守り、指導します。

#### ○学力の面でつけさせたい力

##### ①主体的、創造的に学びを深める力。

与えられた学習を済ませていくだけではなく、自ら課題を見つけ、課題の解決に向けて取り組み、新しい発想力を持った子どもを育成します。

##### ②仲間と学ぶことの喜びを感じ、交流し、高めあう力。

地域の先達に学び、友だちと意見交換を行い、より良い答えを導くことができる、高いコミュニケーション力を持った子どもを育成します。

##### ③自らの考えや意見をまとめ、伝える力。

物事について深く考え、自分の考え、意見を表現できる力を持った子どもを育成します。

#### ○4・3・2制による教育活動の展開

各教科の指導内容を定めた学習指導要領は、現在も小学校と中学校で分かれています。小中一貫校という新しい制度の中で、6・3制の良さも残しながら、9年間で3つの期に分け、それぞれの期の指導目標や指導形態を設定することで、現在の子どもの特性に沿った、義務教育9年間の教育活動を展開していきます。

#### ○義務教育学校の特色ある教育活動

##### ◎わかやま創造科

教育課程の中にこれまでも位置づけられている総合的な学習の時間を、義務教育学校で

は「わかやま創造科」と呼ぶこととなります。今求められている、主体的に学ぶ力、協働的に学ぶ力、探究的に学ぶ力を養い、自分の生き方を考え、自分の豊かな姿を創造し、未来を切り拓く力を持った児童生徒を育成します。その題材として「わかやま」の「ひと、もの、こと」について系統的・継続的な学習を展開します。また、自ら育った地域の歴史や文化のよさを知り、郷土を愛する心を持った児童生徒を育成します。

#### ◎外国語教育の充実

外国語をツールとして活用しながら、国際社会の中で互いの文化を尊重し、共に生きていく資質・能力を養い、国際人としての意識の高揚を図ります。1年生から外国語活動を導入し、9年間を貫く系統的な「外国語教育」を教育課程に位置付けます。また、モジュール学習の時間（15分間の短時間学習）を取り入れ、外国語に慣れ親しむ機会を増やしていきます。

#### ◎理数教育の充実

科学的、論理的なものの見方や考え方の基礎を養い、思考力、判断力、表現力を育む「理数教育」の充実に取り組みます。3つの理科室を活用し、実験・観察等の実習に取り組むとともに、電子黒板等の機器を効果的に使用しながら、確かな力を育成します。平成28年度より、3小学校の算数科で「考えノート」を導入するなど、授業スタイルの共同研究に取り組んでいます。

#### ○年間の授業時数

学校裁量により、外国語活動の充実を図ります。モジュール学習の時間と、担任とALTがチームを組んで担当する時間が、増加することとなります。なお、5・6年生の授業は、前期課程の担任と後期課程の英語教員がチームを組んで指導します。

#### ○時間割

教員が各期の枠を超え相互乗り入れを行いやすいように、授業時間を重ねる時間割を工夫しています。前期課程においては、朝の時間帯にモジュール学習の時間を設定しています。学年によって違いはありますが、週2回から3回実施予定です。後期課程は、朝読書の時間を設定する予定です。4限以降の網掛けの部分は、補充や発展の時間として活用します。

#### ○行事予定

詳しい日程は、開校時の4月にお示しします。ご質問のあった中学校の入学式については行わず、進級式という形で実施します。また、小学校6年生の卒業式は行わず、終業式当日、前期課程の修了式を行い、修了証書を授与する予定です。運動会については、1年生から9年生合同で、一貫校の特色を生かす運動会として実施する予定です。

#### ○その他

開校時の児童生徒数ですが、約640人を予想しています。県立や私学への進学、転入、転出もあり、人数の変動はあると思いますので、あくまで予想人数です。開校時の学級数は、1～3年生が各学年3学級、4～9年は各学年2学級、特別支援学級は前期課程で2学級、後期課程で1学級と予想しています。

#### ・保護者からの質問への回答について

7月の6日から13日の期間に伏虎中学校と本町、城北、雄湊の3小学校に保護者アンケートをお願いし、約100通近くご意見、ご質問をお受けしました。資料はすべてのご意見やご質問を項目ごとにまとめたものです。(資料参照)

#### ・伏虎義務教育学校だよりから

##### ○伏虎義務教育学校の新設に伴い廃校となる小中学校跡地の活用の構想について

伏虎中学校跡地には、県立医科大学薬学部と市民会館が、平成33年4月開設される予定です。入学定員100人600人規模の大学となります。

雄湊小学校跡地には、学校法人青葉学園東京医療保健大学和歌山看護学部(仮称)が平成30年4月に開学される予定です。入学定員90名で360人規模の大学となります。1、2年生を雄湊キャンパスで看護の基礎科目及び教養科目を中心に学び、3、4年生では、日赤和歌山医療センターキャンパスで、看護実習等を中心に学生生活を送ります。

本町小学校跡地には、現在和歌山信愛女学院に誘致を交渉しているところです。学年100名で400人規模となります。市長の考えとして、和歌山市のまちなかの活性化をはかり、賑わいを取り戻すための一つの方策として3大学構想を掲げ、統合された学校跡地に大学誘致を推進しています。まちなかの半径1km圏内という極めて近い距離に3つの大学が誕生することにより、若者を市内中心部に呼び込み、若者の力と連携しながら、中心市街地の活性化を展開します。

##### ○校舎建設工事について

現在建設工事は、外観の躯体工事は完了し、外装・内装工事や電気工事・設備工事を中心に進めています。校舎内は、各教室、広い廊下や体育館などが仕上げ段階を迎えています。地下駐車場の入口付近ですが、歩道整備が完了するまでの間、仮設の歩道として、カラーコーンを設置しています。通行の支障となり、ご迷惑をおかけしておりますが、ご理解とご協力の程、よろしく申し上げます。

##### ○平成29年度の工事計画について

現在城北小学校が使用している南校舎の解体及びグラウンド整備の工事を実施します。工期は、校舎解体工事が5月末までを予定しています。その後グラウンド整備工事を実施し、10月末に竣工予定となっております。なお、工事の進捗状況により、もう少し早く完成することも考えられます。また、平成29年4月開校後も、継続して工事を実施するため、ご不便をおかけいたしますが、よろしく申し上げます。工事仮設計画図にあるように、4月以降は、グラウンドの使用はできますが、工事エリアがあるため、制約があります。また、6月からは、南校舎の解体工事も終わり、グラウンドは広くなりますが、屋外トイレの設置、テニスコート整備及び現場事務所撤去等の工事があるため、テニスコート部分の使用は2学期以降となる予定です。また、最終のグラウンド整備として、グラウンド全面のレベル調整等、グラウンドの整地をすべての工事終了後実施します。2週間程度必要となりますが、授業等に支障が出ないよう、夏休み中に実施完了できるよう、施工業者と調整しています。具体的な実施時期が決まりまし

たら、学校を通じて保護者の皆様にご連絡させていただきます。4月以降の部活動の練習について、支障が出ることになり、ご迷惑をおかけしますが、影響が最小限となるよう、学校と協議を行ってまいります。

#### ・通学路について

赤い線の部分が通学路（案）になっています。現在の伏虎中学校の通学路を基に考えています。赤い線の部分以外は通ってはいけないということではなく、各自宅から注意して通学路まで歩いていただきます。もちろん、赤い線以外で現在各小学校の通学路になっている道路についても利用していただけます。

6月の説明会后、本町、城北、雄湊小学校の各校長先生を通じてご意見をいただきました。現状を確認しながら、通学路設定の基準に基づき、原則、歩道や信号機、横断歩道が在るところで作成しています。

今回、児童生徒の安全ということで、伏虎義務教育学校の通学路での見守り実施が必要と思われる場所を追加させていただいています。現在、学校、警察をはじめ連合自治会、見守りをしていただける各団体等との調整に入っているところです。今後、さらに微調整しながら決定していきたいと考えています。

4月開校時には、教育委員会、学校からも児童生徒の安全のため、登校指導を実施します。開校後、新たに危険箇所が見つかった場合は、通学路の設定変更又は和歌山市通学路安全推進会議で協議し、対策を講じてまいります。

## 6 質疑応答

ご質問、ご意見及び教育委員会の考え方等については、趣旨を損なわないように要約しています。

### ◆通学路の見守りを実施したい場所について、今後も変更できるのでしょうか（雄湊地区）

⇒ 今後見直し等も含めて検討していきたいと考えています。

### ◆地域と学校の行事はどうなりますか（本町地区）

⇒ 学校教育の中で、地域とのふれあいというのは非常に大切であると考えています。現在も、中学校2年生では和歌山市内すべての学校で職場体験学習があり、地域の事業所に3日程度中学生が職業を体験するという活動があったり、また地域の方がゲストティーチャーとして学校に来ていただいて、お話を聞いたり、また給食を一緒に地域の方と食べたり、学校の行事に地域の方を招いて様々な取組をしています。

新しくできる伏虎義務教育学校でも、できるだけそういう地域の方々とのふれあいの機会を多くして、子どもたちの成長につなげていきたいと考えています。また、わかやま創造科ということで総合的な学習で力を入れるところですので、そういう場面では地域の方々の様々なご支援をお願いしたいと考えています。

### ◆運動会では、一貫校の特色を活かす運動会となっていますが、具体的にどのような運動会をイメージしたらいいのか教えてください。（雄湊地区）

⇒ 今1年生から9年生までの子どもたちが集まってやれる行事は、実は多くないと思っています。これまで他府県の一貫校の行事等を調べて、どういったかたちで運動会ができるのか検討しているところです。特色としては、学年ごとに種目をするだけではなく、異学年がチームを組んでするような種目や、1年生から9年生まで参加できる学校全体が一体となった種目を考えながら計画を立てていきたいと考えています。

◆黄色い帽子を着用してほしいという質問の回答が導入しないとなっていますが、以前住んでいたところでは、小学校1年生は黄色い帽子と黄色いランドセルカバーが支給され、地域の方々が見守ってくれました。1年生に限って特別に考えてください。(本町地区)

⇒ ランドセルのカバーについては、新1年生が全員黄色いランドセルカバーをつけて登校してもらう予定です。やはり登校時の安全というのが1番開校してからの最優先の事項だと思います。そのあたりは教職員一同、気持ちをひきしめて取り組んでいきたいと思っています。

◆低学年のところで2限と3限の間に休憩時間が20分あります。現行の小学校でも2限と3限の間にはこのような20分の休憩時間がありますか。10分以上の休憩をとると集中がとぎれてしまって、授業への影響がありそうで心配です。(本町地区)

⇒ 現在の小学校はほとんど15分から20分間程度のいわゆる大休憩をとっています。本町、雄湊、城北小学校の子どもたちは、5分前行動でチャイムが鳴る前に教室に入るという習慣が定着しています。20分間ではありますが、実質子どもたちが外で遊べるのは15分間程度です。集中力がとぎれるというよりは、逆にその間体を動かして遊んだり、お友達とお話をするということで、3時間目からの授業に集中する力がついていると感じています。

◆チャイムについて、始業時や掃除の始めなどの節目となる時点で鳴らし、校内の時計を気にしていくということですが、子どもたちに腕時計を着用させるという意味合いもあるのでしょうか。腕時計がなければ、子どもが時計の見えないところにいるときをどのようにお考えですか。(本町地区)

⇒ 腕時計につきましては、遠足や校外活動等の時にはグループで持つということもありますが、壊れたりすることもありますので着用していません。校内では子どもたちは時計を気にしながら、高学年の子どもたちは大休憩が終わる前に移動を始めます。低学年の子どもたちに声をかけたりしながら、教室に入っていきますので、チャイムが鳴らなくても子どもたちは行動できていますのでその点をご安心ください。

◆ランチルームがありますが、給食は教室で食べるのか、それとも自由でどこで食べてもいいのか教えてください。(雄湊地区)

⇒ 給食は教室で食べることとなります。ランチルームは交流の場として、他の学年と一緒に食べたり、同じ学年と一緒に食べたりなど、120人くらい入るスペースがありますので、なるべくランチルームを活用できればと考えております。

◆通学路について、集団登校がないということになると、親が通学路を勝手に決めてその道を通わせるのか、行き方は何通りもあるので、子どもが気分によって違う道を通ってもいいのか。

どうすればいいか教えてください。(雄湊地区)

⇒ 毎年保護者の方にどういうルートで学校へ通わせているのか、地図に赤い線を引いてもらって、提出をしていただいています。子どもを保護者が迎えに行く場合、子どもが色々な道を通って帰るとすれ違ってしまい、迎えに来たのに家に帰っている場合が考えられます。また、通学路を担当が把握することはとても大切です。危ないと考えられるような道を通って行くようなルートで提出されますと、担任も心配になり、相談をさせていただくこともあります。保護者の方がここは危ないというところがあれば、こっちの道を通っていきなさいとご指導していただければと思います。

◆伏虎義務教育学校から雄湊小学校まで距離が離れていますが、雄湊小学校で児童生徒が教育活動あるいは勉強その他運動などすることはないですか。(城北地区)

⇒ 雄湊小学校の運動場は伏虎義務教育学校のサブグラウンドとして、放課後に野球部で使用します。体育の授業等については新しい伏虎義務教育学校のグラウンドで授業を行うこととなります。

◆質問のところで答えを書いています、それぞれの理由を具体的に示してほしい。例えば帽子について、帽子は日射病などの対策ということで義務付けることも考えられると思いますが、実施しない理由を教えてください。また、運動会のことでも、他都市の例があるのであれば、資料で示してほしい。また、低学年の体力の待ち時間が長くなること等が心配だということに対する答えも示してほしい。あと、修了式ということで、少しイメージがわるいものがあれば示してほしい。子どもの発育に卒業式、入学式が与える影響は大きいと思うので、一貫校はなおさらそういうところも重要視するという事も考えられるのではないかと思います。(砂山地区)

⇒ 運動会について、時間帯はほとんどの小学校が9時から2時半くらいまでです。その間にお昼休憩を45分から1時間くらい取ります。現在の3小学校はとても少人数になっていますので、縦割りの種目、例えば1年生と6年生が同じ種目をする事や、リレーを5年生6年生でチームを作ってしています。伏虎義務教育学校で1年生から9年生までが同時に開催した場合、運動会の時間が凄くのびるということはありません。今と同じように朝9時から2時半くらいまでの設定となりますので、いわゆる中学校のスポーツ大会というイメージではなく、みんなで楽しく運動を楽しむ運動会になると思います。体力な面とか待ち時間ということに関しては、現在の小学校の時間帯で行っている範囲ですので、心配はないと思っています。

修了式について、前期課程修了後で県立あるいは私立に進学する方もいると思いますので、1つの節目は作るべきと考えます。卒業証書ではありませんが、修了証書というかたちのものを用意して、前期課程の修了と今後の後期課程へ進んで行くにあたっての心構えが持てる厳粛なかたちで式を行うことを考えています。その式には保護者の方にも来ていただければと考えております。

黄色の帽子について、帽子の着用について学校長と教育委員会と保護者で協議をしました。3小学校のうちで城北小学校が黄色い帽子を着用しています。雄湊と本町小学校は黄色い帽子を着用していません。もちろん全体に広げるという考えもありますが、現状では、帽子の

着用については個人の自由にまかせることになりました。

◆質問のところで全体的にこうしますというのがありますが、理由を少しわかるように示してほしい。なにかの機会に、具体的に質問したことに関わらず決定している事項の中に理由を示してほしい。今回、回答は結構です。(砂山地区)

◆テニスコートが2学期からしか使えないと説明がありましたが、1学期の間はどこで部活動の練習をさせていただけますか。(本町地区)

⇒ テニスの練習については、出来上がった伏虎義務教育学校の運動場で練習をすることになると思います。コートは運動場に描いて、簡易にはれるネットのようなものを用意して行うこととなります。しばらく部活動が重なるので、子供たちには不自由な思いをさせるのですが、今の出来上がった運動場を利用しながら練習することになると思います。

◆野球部の部活動について、雄湊グラウンドまでの移動は徒歩ですか。また、雄湊グラウンドは4月から使えますか。(本町地区)

⇒ 雄湊グラウンドで、野球ができるようになるのは、防球ネット等の整備工事がありますので、平成30年1月からとなります。その間は、野球部は雄湊グラウンドで練習することができません。現在伏虎中学校の野球部は人数が少ないので城東中学校との合同チームで行っています。その間については、そういった他校の練習場所を借りながら練習することになるかと思えます。

◆前期課程の修了式について、保護者も参列するような式と説明されましたが、卒業式のような子どもも親もフォーマルな格好でほとんど卒業式に準ずるような形を考えているのか、それとも授業参観程度の簡素なものを考えていますか。(雄湊地区)

⇒ 最終的には、もう一度全体でつめていくこととなりますが、卒業式という位置づけではないので、修了証書を渡し、修了にあたっての言葉を述べさせてもらったり、簡素な形での式を考えています。

◆若竹学級について、送迎のための駐車スペースはないということですが、もしお迎えに車で行った場合、地下駐車場にわざわざ停めないといけないのか。もし可能であれば、若竹学級に迎えに行くときに今から行くので子どもを用意させといてもらって、車まで送って来てもらうのは可能ですか。(雄湊地区)

⇒ 若竹学級ですが、和歌山市の小学校に駐車スペースはない状況です。同じように伏虎義務教育学校も駐車スペースは用意していません。交通ルールを守っていただきながら、駐車禁止のところであれば、駐車をしないようお願いしたいと思っています。そういった時には周辺にコインパーキングもありますので、そういったところを活用していただくことになると思います。また、事前に電話を入れて、今からお迎えに行くから外までというのは、若竹の中で子供が活動していますので、その間支援員が抜けることは難しいです。校門のところにインターホンを設置しますので、そこでピンポンと鳴らしていただいて、誰々迎えにきましたということで、そこに子供が行くという今と同じような形をお願いしたいと考えていま



す。

◆その若竹学級のインターホンがある道路は、駐車禁止の区域ですか。(雄湊地区)

⇒ 今は城北小学校に若竹学級はなく本町の方でさせていただいています。今度の若竹学級の入口は、おそらく駐車禁止の道路になると思っております。

◆以前住んでいた小学校にはネーミングシステムというのがあり、子供が学校についた時点でカードをかざしたら、私の携帯もしくはもうひとつ登録しているところに、「学校に着きました」とメールが届き、学校を出る時に「今、学校出ました」とメールが届くようなシステムがありましたが、そのようなネーミングシステムの導入を考えていますか。(本町地区)

⇒ そのようなシステムがあることは分かっていますが、現在和歌山市ではそのようなシステムの導入は考えていません。

◆部活動について、人数が少ない部活動は合同でしていると思いますが、その際に自転車で移動していると思います。新しい学校には自転車を置くスペースはありますか。(本町地区)

⇒ 中学生の学校間の移動は自転車でヘルメットをかぶって移動という場合が多くあります。その場合に自転車置き場のある学校と自転車通学が認められていない学校については駐輪場として屋根がある場所が多くない所があります。伏虎義務教育学校は自転車通学のない学校になりますので、大規模な駐輪場というのは校内に設置はできていませんが、学校の北側にスペースがありまして、このあたりに自転車を止められるスペースはあります。ただ屋根はありませんので、正式な駐輪場というのは設置できていません。

◆参観日等で保護者は自転車でくるとと思いますが、自転車を停めるスペースはありますか。(本町地区)

⇒ 大きな駐輪場がありませんので、特別な行事の際はグラウンド等に駐輪場を設けさせていただきます。

◆若竹学級ですが、2クラスを確保していると思いますが、若竹学級を希望される家庭が増えてくるとと思いますので、今後要望によっては増やしていただくことは可能ですか。(雄湊地区)

⇒ 若竹学級ですが、この伏虎義務教育学校は2クラスを用意しています。普通の若竹学級の場合は余裕教室というのが多いので、普通の教室の大きさになるのですが、今回はそれよりも大きな部屋を2つ用意しています。新1年生の状況は2月に新入児の入学説明会があり、そのときに希望を聞くこととなります。各3つの小学校の若竹学級の児童の推移からどれくらいになるか予想しているなかで、2クラスを超える可能性もあると考えています。そういった場合には3クラス目という部分は検討をしていかなければならないと考えています。若竹学級の利用は多くなっていますので、対応は考えていきたいと思っております。